

# 平成 30 年度 水素情報館「東京スイソミル」出前授業 「進め！水素社会へ！～水素がつくる未来のカタチ～」 実施レポート

持続可能な低炭素都市の実現に向け、水素情報館「東京スイソミル」のコンテンツを活用した水素を学ぶ小学校向けの出前授業を通して、水素社会の意義、安全性、将来像などを伝え、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で活用が期待される水素エネルギーへの理解を深めるとともに持続可能な社会づくりのために行動できる人材育成を目的として、今年度初めて実施しました。

## 【実施先】

- 1月10日（木） 墨田区立業平小学校（4年生）
- 2月13日（水） 江戸川区立清新ふたば小学校（4年生）
- 2月28日（木） 東京都立江東特別支援学校（高等部）

授業では、目に見えない水素について、燃料電池実験や燃料電池自動車（FCV）体験を交えながら、水素社会の将来像、安全性等を説明。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会での活用も期待されている水素エネルギー実用化事例を紹介。授業での学びを活かして、次代を担う児童・生徒が自ら考え、「未来のまち」を作ることを通じて、持続可能な低炭素都市の実現に必要なエネルギーであることを理解・実感してもらうことができました。

## 【墨田区立業平小学校での授業の様子】

（授業の目標）水素が活用された環境にやさしい「未来のまち」をつくる。

### 1.水素とオリンピック・パラリンピックとの関係

イントロダクション

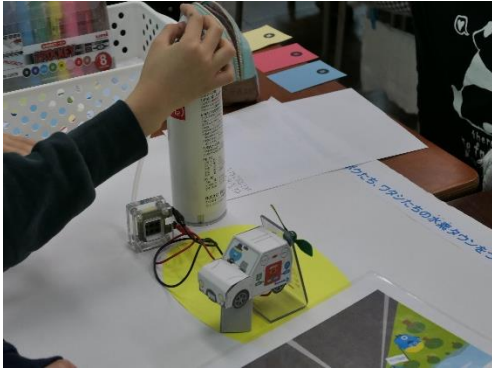


クイズでオリパラと水素の関係を学習



## 2. 水素社会の技術と既存の学習内容（社会科）との関係

実験で燃料電池の仕組みを学習



学んだことをシートに書き出す



燃料電池自動車（FCV）体験



質問にも積極的に回答



## 3. (まとめ) 生徒が考えた水素が活用された「未来のまち」を発表

班ごとに相談して「名前」を決定



完成した各班の「未来のまち」

